

緑風

学校教育目標
やさしく
たくましく
英知を磨く 緑風の子

名護市立小中一貫教育校
緑風学園
名護市字汀間122番地
TEL0980-55-8113
児童生徒159名・職員41名
発行 校長 島袋克也



「基礎を耕す」充実した一学期！

5年生は稲作を通して、生産の喜びを味わうとともに、先人の知恵や苦勞に気づく事をねらいとした総合学習において、具志堅勇さんを中心に民生委員さん、JA羽地の協力のもと稲刈りを行った。

5年生は、地域の方々の手際のよい作業に終始圧倒されながらも真剣に稲刈り作業ができた。

たくさんのご支援に感謝！

1学期がスタートしてから約3ヶ月半の間、様々な行事が行われました。保護者・地域の皆様には様々な場面でご協力いただき、本当にありがとうございました。



1年、2年生有津の川探検(生活科)

第1回地域連携推進委員会を開催



7月8日(水)に1年生、2年生の生活科の時間に夏の川遊び体験を行った。子ども達はエビ、小魚、カニ等に手で触れ有津の川の豊かさを実感した。



7月3日(金)に二見以北各区区長、学校評議員、校長、教頭と地域連携推進委員会を開催。

会は学校行事やPTA行事、地域の行事等について、意見や情報交換等を行い、地域に根ざした取組の推進及び学校教育の向上に資することをねらいに話し合いが行われた。

今後も、家庭・地域・学校が一体となった教育の推進をしていこうと確認した。

汀間老人会より今年もたくさんの雑巾の寄贈

汀間老人会より、今年も掃除を通して心を磨いて欲しいと願いを込められた100枚の手作りの雑巾を頂きました。本校は、清潔でキレイな学校を目指し、豊かな心を育むことを目標としています。毎年のように汀間老人会からの心こもった雑巾で子ども達は一生懸命に清潔で綺麗な学校づくりを目指したい。



平成27年度地域懇談会

○懇談会テーマ

学校の役割・家庭の役割・地域の役割

～子ども達が意欲的に

学習に向かう姿をともに考えよう～

1 参加状況(人数)

保護者	学校関係者	地域の方々	合計
75	27	82	184

2 地域懇談会で話し合われた内容(一部)

○子ども達は忙しすぎるのでは？週に1回は家庭の日を設けるなど、家庭、地域とのコミュニケーションをとるゆとりを与えて欲しい。地域のバックアップとして、子供会、祭り等で子ども達と地域住民とのコミュニケーションの場を確保している。

○地域の方とともに活動する場を提供して欲しい。
○いじめはあるか？→ないとは言えない。あるものとして認識した取組を実践している。

○学校の先生方もっと交流を図りたい。

○「地域の学校」というのが薄れてきている。

○下校時、バス停に降りても整備されていない。開学前から問題になっている。

○携帯電話の普及で親子の会話がなくなっている。

○釣りをする生徒の安全指導について

○校区外の下校時のバスの利用

○準会員制度の復活

○危険場所を地域で確認する必要がある 等々

懇談会では、問題提起、各区・家庭で取り組まなければならないこと等が話し合われた。

名護市PTAバレーボール大会大活躍



名護市PTA連合会主催によるバレー大会が5日(日)に名護小体育館であった。男女とも一生懸命のプレーと、たくさんの応援があり、交流と親睦を図るとても意義ある大会であった。